

平成二十二年沖縄全戦没者追悼式

六月二十三日(水)に平成二十二年沖縄全戦没者追悼式が執り行われ、戦没された方のご冥福を祈るとともに世界の恒久平和への誓いを新たにしました。

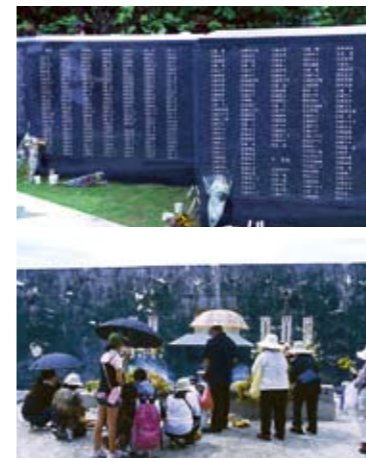


沖縄全戦没者追悼式

糸満市の平和祈念公園で行われた式典には、来賓の菅内閣総理大臣、横路衆議院議長、江田参議院議長、前原沖縄担当大臣など、約五千五百人が参列しました。菅首相は追悼式典に先立ち、国立沖縄戦没者墓苑で献花をし、平和の礎を訪れました。

式典で菅首相は、「町を、家を、友を、家族を奪われた県民の無念さを思い、言葉に表せない深い悲しみを覚えた」と述べました。横路衆議院議長、江田参議院議長も沖縄県に対する熱い思いを述べました。

式典終了後は一般焼香が行われ、参列者の方々は戦没者のみ霊に手を合わせ、恒久平和を祈念していました。



あいさつを述べる菅総理

平和宣言と平和の詩

仲井真知事は式典で平和宣言を行い、「沖縄には、万国津梁の精神で多くの国々と交流があり、平和を維持してきた歴史があり、『平和の礎』や『沖縄平和賞』に込めた理念をもって、世界平和の創造に貢献し、沖縄が引き続き、国際社会に対し恒久平和の発信拠点となるよう取り組み、県民の英知と情熱を結集し、人類共通の願いである世界の恒久平和の実現に向けて邁進していく」と述べました。続いて、沖縄県立普天間高等学校三年生の名嘉司央里さんは「変えてゆく」と題して、「当たり前に基地があり、へりが飛び、爆弾実験が行われている普通の一日を、普通なら受け入れられない日常として当たり前に受け入れてしまっていることに違和感を覚え、この島であった悲しい記憶を忘れてはならず、負である『戦争』を忌み嫌い、正である『平和』を祈る」と述べました。



詩を朗読する名嘉司央里さん 仲井真知事の平和宣言

和を深く愛し、悲しい負の遺産を正に変えてゆこうと、平和への願いを込めて詩を朗読しました。

慰霊の日関連行事

追悼式の前日の二十二日夜には、糸満市の平和祈念堂において沖縄全戦没者追悼式前夜祭(財)沖縄協会主催)が開催され、琉球古典音楽献奏や琉球舞踊奉納が行われました。

二十三日追悼式当日は、沖縄県遺族連合会が主催する平和祈願慰霊大行進が行われ、約一千人が糸満市役所から式典会場まで行進し、平和への誓いを新たにしました。また、同連合会の仲宗根義尚会長は、式典で「戦後遺族は互いに助け合いながら、英霊の慰霊顕彰と家運の再興、郷土の復興のために一生懸命努力し、沖縄県も目覚ましい発展を遂げ豊かな長寿社会となったが、国際社会では地域紛争が絶えず、戦没者遺族が生まれることに憤りを覚え、一日も早く平和が訪れることを強く望む」と追悼のことを述べました。



平和祈願慰霊大行進

「やっぱりいいねおきなわ」 沖縄県の観光振興の取り組み

県では、「やっぱりいいねおきなわ」をキャッチフレーズに、観光活性化のためさまざまな取り組みを行っています。

沖縄観光の現状

昨年度の沖縄県における観光客数は、五百六十九万人で、景気低迷の影響や新型インフルエンザの流行などにより、八年ぶりに前年度を下回りましたが、外国人観光客数は、チャーター便の増加や不定期クルーズ船の寄港回数が増加したことから、二十四万六千二百人と過去最高を記録しています。



ビジットおきなわ計画

県では、平成十九年度から観光客数一千万人、観光収入一兆円をめざし、毎年度数値目標を設定した具体的な誘客行動計画「ビジットおきなわ計画」を策定しています。

今年度のビジットおきなわ計画では、数値目標を次のとおりに掲げています。

①入域観光客数 六百万人 (対前年度実績比五・四%増)



- ① うち外国人観光客数 三十万人 (対前年度実績比 二一・九%増)
- ② 観光収入 四千三百八十億円 (対前年度見込み比 九・一%増)
- ③ 観光客一人当たりの県内消費額 七万三千円 (対前年度見込み比三・六%増)

これらの目標達成のため、次の四つの戦略を柱とした各事業を展開します。

- 【戦略一】外国人観光客の誘致の強化
今年度を「沖縄インバウンド」(※強化年)と位置づけ、更なる観光客誘致の強化を図ります。
- 【戦略二】付加価値の高い旅行の促進
修学旅行やMICE(※誘致を強化するための事業を展開するほか、エコツーリズム、リゾートウェディングなどの拡充を図ります。
- 【戦略三】新規市場の開拓
「HAPPYアイランド沖縄」キャンペーンを推進するほか、新たに「全国エイサー大会」などを実施し、沖縄観光の魅力増進につなげます。
- 【戦略四】受入体制強化による満足度の向上
「外客受入基礎セミナー」や安心・安全・快適を追求するための事業の他、環境に配慮した観光地づくりの推進などを行います。

沖縄インバウンド強化年

県では、今年度を「沖縄インバウンド強化年」と位置づけ、外国人観光客誘致を強化します。

- ① 重点地域(台湾・韓国・中国・香港)のプロモーション強化
- 【台湾】サイクリングやリゾートウエディングなどの新しいツアーや定期クルーズ船の継続寄港を促します。
- 【韓国】ダイビングやゴルフなど、季節ごとのターゲットを設定し、航空路線の拡充を求めています。
- 【中国】交通広告による知名度向上を図り、チャーター便の誘致を強化します。また、沖縄県内の銀聯カード(中国最大のデビットカード・クレジットカード)の導入店舗の拡大を支援し、県内消費を促進します。
- 【香港】離島を含めた多彩な旅行商品により、リピーターの獲得を図ります。
- ② 海外新規市場の開拓
欧米やロシアからは、旅行社やメディアを招き、ツアー造成や記事掲載を促すほか、現地の航空会社などと連携し、チャーター便を誘致します。
- ③ 海外への情報発信強化
観光情報サイト「おきなわ物語」では、日本語、英語、中国語繁体字・簡体字、韓国語に、ロシア語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語を加え、十言語で情報発信しています。
- ④ 新たな委託駐在員の配置
成都・タイ・シンガポール・ラオスに新たに委託駐在員を配置し、誘客活動をよりグローバルに強化します。



「HAPPYアイランド沖縄」記念日は沖縄で〜キャンペーン

「特別な日」・「記念日」を沖縄で過ごしていただけるよう、沖縄旅行の新たなきっかけ作りとして始めたキャンペーンです。沖縄ならではの記念日の過ごし方をPRし、「記念日といえば沖縄」というイメージを定着させる取り組みです。

キャンペーンの参加団体が、誕生日や結婚記念日などの記念日にまつわる独自の特典を用意しており、それを集約し公式サイトで発信しています。

記念日は沖縄で HAPPYアイランド沖縄 ~記念日は沖縄で~ キャンペーン公式サイト <http://www.happyokinawa.jp/>